

令和7年度 鶴見橋中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	37	38	30	16.5	23.6
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2
4月17日	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6

	平均IRTスコア
	理科
学校	404
大阪市	489
全国	503

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンから学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

令和7年度 鶴見橋中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

○全国学力・学習状況調査結果

【成果と課題】

＜国語＞ 平均正答率の全国比は、ここ3年間上昇しているが、無解答率は昨年より上昇してしまった。全国と比較して、平均正答率はいずれの領域も下回っているが、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「話すこと」「聞くこと」の領域において全国平均との差は昨年度を上回った。
「書くこと」「読むこと」の領域においては、全国平均をそれぞれ21.1ポイント、20.6ポイント下回っているが、年々全国平均との差は縮まりつつある。

＜数学＞ 平均正答率の全国比、無解答率はいずれも昨年度を上回った。領域別にみると、全国と比較した差が「関数」の領域においてのみ、昨年度の値を下回った。

＜理科＞ 全国と比較して、IRTバンド下位(1,2)が43.5ポイントも上回ったことから、基礎的な学習項目の習得に課題があることがわかる。

【今後に向けて】

＜国語＞ 語句の用法、叙述の仕方、表記などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる問題の正答率が低かったことから、多様な文章に接する機会を確保することで、基本的な語彙力の向上や根拠を考えながら記述できるよう働きかけていく。また、国語科で育てたい「思考力」「判断力」「表現力」を実生活に近い形で身につけさせる必要がある。

＜数学＞ 依然としてすべての分野において、正答率は全国の値を下回る状況であり、基本的事項の習得が不可欠である。
反復した演習や小テストでの理解度の確認を取り入れるなどして、定着を図っている。
数学が比較的得意な生徒には、発展問題などの問題に取り組みせ、応用力を高めることにも努めたい。
また、記述式の無回答率がかなり高いことから、普段の授業から中学校で学ぶ根幹の定着や活用、数学的に物事を整理して考える基礎力、数量図形データの多面的な理解力、物事を考え、表現する力を高めていく必要がある。

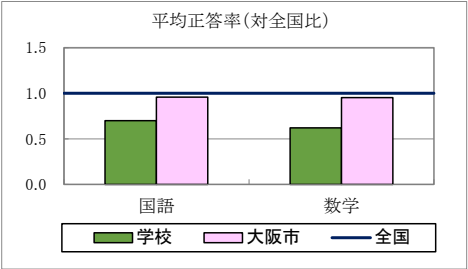
＜理科＞ 理科を好きだと感じている生徒は多く、抽象的な概念の習得に当たってはICTを活用し、イメージしやすいように工夫する。
自然現象の理解については、観察や実験を可能な限り増やすように心がけており、受験レポートなどを作成させることで表現力の向上もはかっている。

令和7年度 鶴見橋中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

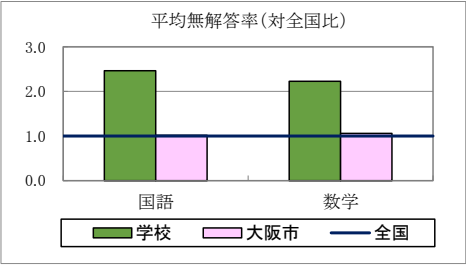
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	38	30
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

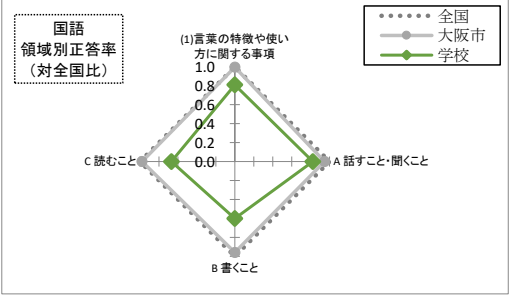
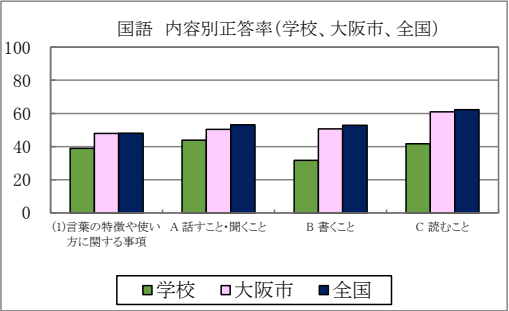


	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	16.5	23.6
大阪市	6.8	11.2
全国	6.7	10.6



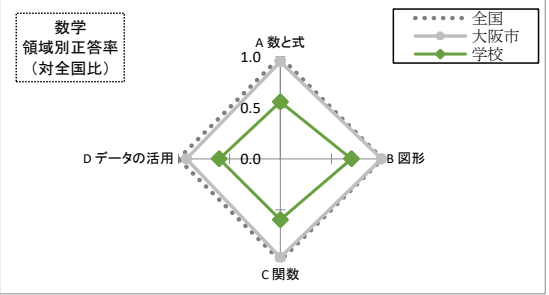
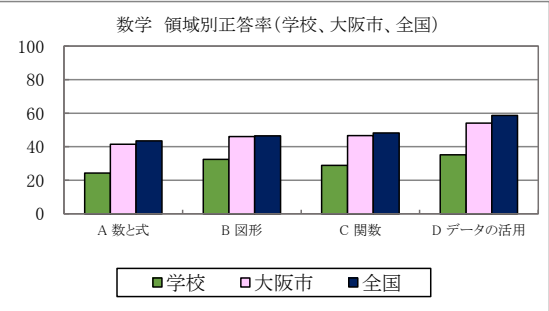
【 国 語 】

学習指導要領の 内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	38.9	47.9	48.1
(2)情報の扱い方に 関する事項	0			
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	43.8	50.4	53.2
B 書くこと	5	31.7	50.6	52.8
C 読むこと	3	41.7	61.0	62.3



【 数 学 】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	24.3	41.4	43.5
B 図形	4	32.4	46.1	46.5
C 関数	3	28.8	46.6	48.2
D データの活用	3	35.1	54.0	58.6

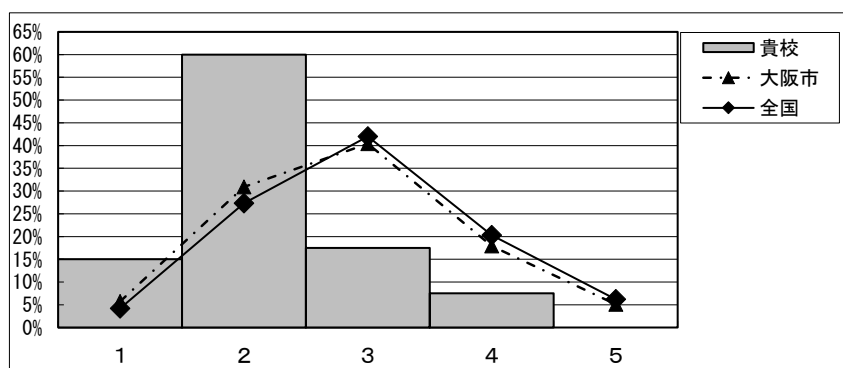
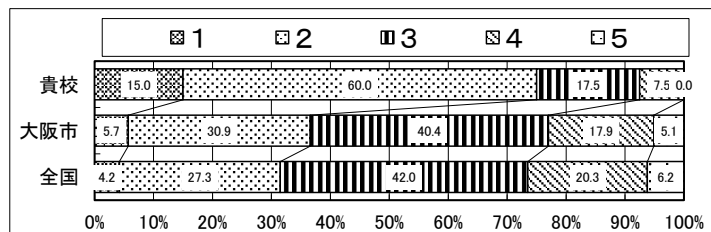


令和7年度 鶴見橋中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

	平均IRTスコア
学校	404
大阪市	489
全国	503



令和7年度 鶴見橋中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

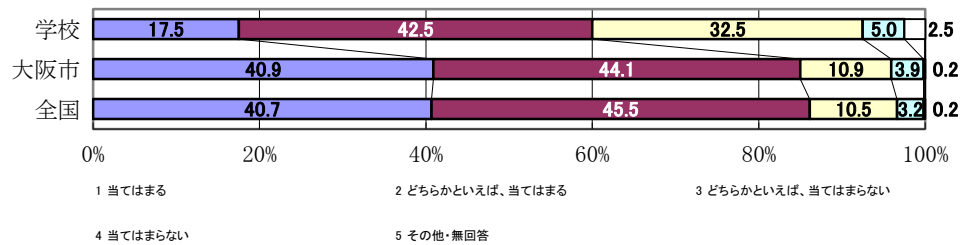
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

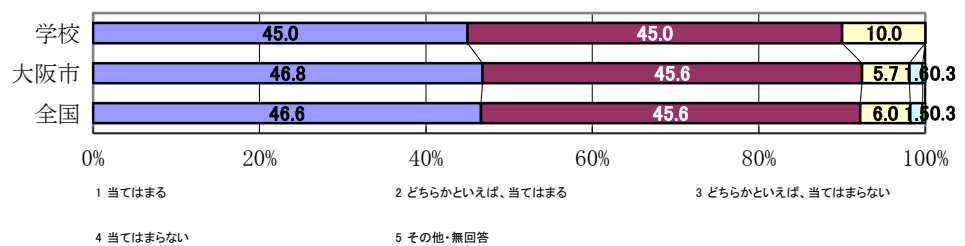
5

自分には、よいところがあると思いますか



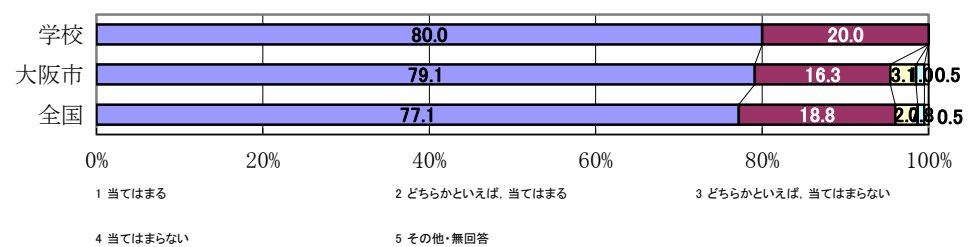
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



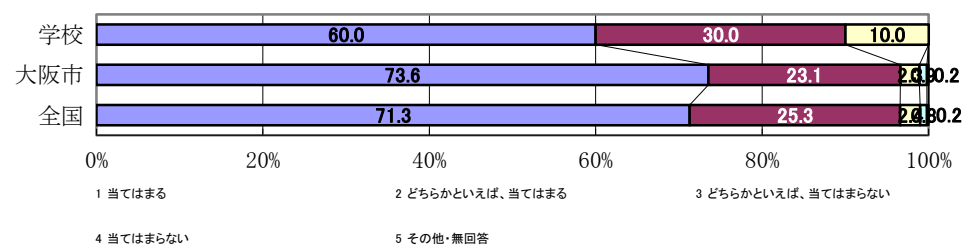
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



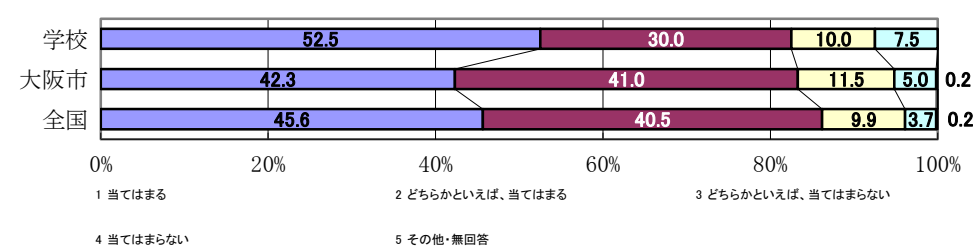
11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



12

学校に行くのは楽しいと思いますか



令和7年度 鶴見橋中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

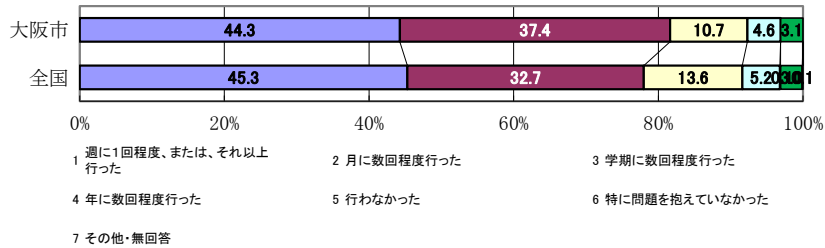
質問番号

質問事項

12

前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

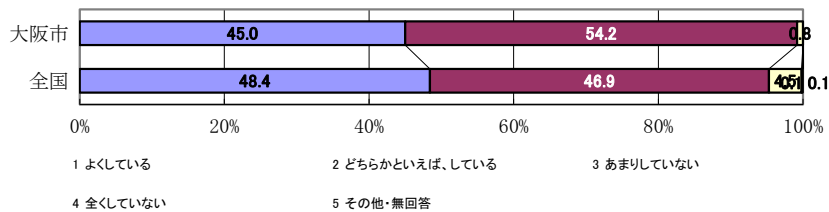
学校 「週に1回程度、または、それ以上行った」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

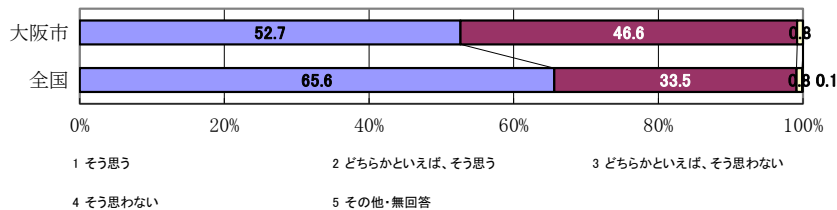
学校 「よくしている」を選択



23

教職員が困っているとき、管理職と教職員との間で随時相談できるなど組織的に対応する体制を構築していると思いますか

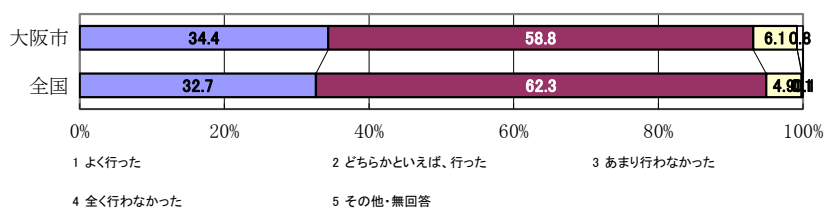
学校 「そう思う」を選択



31

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習指導において、生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか

学校 「よく行った」を選択



67_5

生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(5) 生徒の心身の状況の把握

学校 「ほぼ毎日」を選択

